

設置の趣旨・必要性

本研究科は、「より高度な専門性を備え、多角的・総合的な支援を地域に根付かせていく実践力」と「医科学を取り入れて福祉健康科学を深化させることができる研究力」を兼ね備え、かつそれらの相互作用によって、「地域共生社会」の概念を理解し、多角的な方向からその実現を担うパイオニアを養成することで、「地域共生社会」の実現に寄与する。

※地域共生社会：多様な問題・困りを抱えるすべての人が、問題・困りの性質や年齢・世代にかかわらず、医療・福祉、心理の結節に基づく専門的な支援を受けるとともに、そうした問題・困りを抱える人を含めたすべての人が地域社会の中で互いにつながり、存在価値を認めあうコミュニティをつくり出していく社会

養成する人材像

「より高度な専門性を備え、多角的・総合的な支援を地域に根付かせていく実践力」と「医科学を取り入れて福祉健康科学を深化させることができる研究力」を兼ね備えることにより、医療と福祉と心理を結節させながら、個人と地域を関係づけた高度な支援と研究を推進していくことのできる人材

福祉健康科学専攻（入学定員：20名）

●健康医科学コース

医科学や理学療法学等の自らの専門性を論理的に立証し、健康医科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる臨床・行政のリーダーや教育者、研究者を養成

学位：修士（健康医科学）【Master of Health and Medical Sciences】

●福祉社会科学コース

福祉社会の構築に向けた制度・政策の立案、また相談支援や臨床福祉における実践活動の専門性を論理的に立証し、福祉社会科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができるリーダーや、専門的な教育研究に従事する人材を養成

学位：修士（福祉社会科学）【Master of Social Service Administration】

●臨床心理学コース

心の健康や心理学的支援に関する高度な専門性を有し、心理学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる心理専門職を養成

学位：修士（心理学）【Master of Psychology】

※公認心理師・臨床心理士の受験資格の取得が可能（予定）

教育の特徴（専任教員：65名）

1 専攻としての教育によって、**3コース合同で相互の学び合いや多領域を関係づけた学びを進め、「地域共生社会」に関する理解と支援の基盤を確実に養うことが可能になるとともに、その上に各コースの詳細な学びを組み合わせることで、「地域共生社会」に関する学びの厚みをさらに増す。**

【特色のある科目】

① 3領域が共通して学ぶ「福祉健康科学特論Ⅰ・Ⅱ」により、福祉健康科学を構成する医療、福祉、心理に関する知見を深めるとともに、各領域に対する理解を深める。

② 「福祉健康科学特別演習Ⅰ・Ⅱ」において、3コースが合同で研究発表及びディスカッションを行い、また各領域の教員が相互に連携して指導を行うことによって、領域横断型研究の実際とその手法を修得する。



【入試の概要】

募集人員 20名

健康医科学コース：5名

福祉社会科学コース：5名

臨床心理学コース：10名

※各コースの募集人員は目安です。

※健康医科学コース，福祉社会科学コースは，一般選抜の他，社会人選抜を行います。

※臨床心理学コースは一般選抜のみです。

入学者選抜試験の日程**<第一次募集>**

出願期間：2019年10月28日（月）～11月1日（金）

試験日：2019年11月30日（土）

合格発表：2019年12月10日（火）

- 選抜方法、出願方法などの詳細は募集要項をご確認ください。
（募集要項は本学ホームページからダウンロードできます）
- 二次募集を行う場合は、本学ホームページでお知らせします。

【問い合わせ先】

大分大学福祉健康科学部総務係
電話（097）554-7502
メール fukusisomu@oita-u.ac.jp